



# 水性ケンエース®

多機能タイプの環境配慮形水性つや消し塗料。  
内装・外装の各部位に塗装可能です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド  
放散等級

F☆☆☆☆

## ■ 特長

### ① 環境配慮形

水系、非危険物、1液形なので、臭気が少なく、ポットライフがない取り扱いやすい商品です。また低VOC塗料(TVOC1%未満)ですので、室内環境に配慮した水性塗料です。

### ② 優れた仕上がり

落ち着いたあるつや消し仕上げで隠ぺい性に優れ、外部性能と内部の仕上りの両面を兼ね備えた高級品です。

### ③ やに止め性／付着性／耐水性

1液水性反応硬化形なので、密着性にすぐれています。また、※やに止め性、付着性、耐水性などにすぐれています。※やに止めについては裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

### ④ 防藻・防かび性

藻やかびの発生を抑える効果があり、美観維持に役立ちます。強力防かびタイプ、抗菌タイプもオプション付与が可能です。

## ■ 用途

戸建住宅・マンション・商業施設など、臭気配慮が必要な内・外壁面の新設・改修塗装。

## ■ 適用下地

新設適用下地：モルタル・コンクリート・PC板・押出成形セメント板・ブロック・スレート・木毛板・木部  
かき落としモルタル・塩ビクロス面

改修適用下地：上記各種素材面

※素材によってはシーラーが必要になります。施工上の注意事項と要点を参照してください。

## ■ 標準塗装仕様

### ● 改修塗装仕様(内・外部面)

・やにの付着が認められる場合は、裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。 粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。						
上塗	ニッペ 水性ケンエース	2	平滑面(0.12~0.14) リシン面・軒天(0.16~0.20)	2時間以上	水道水	2~8%	ウールローラー・はけ エアレスプレー

### ● 新設塗装仕様(内・外部面)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。 吸い込みの著しい下地には吸い込み止め、付着確保のためニッペ水性カチオンシーラーを上塗り前に使用してください。						
上塗	ニッペ 水性ケンエース	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	2~8%	ウールローラー・はけ エアレスプレー

注1) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。特に旧塗膜がリシン面などの粗面の場合、塗付が大幅に増えますので試験塗装などして確かめてください。)

注2) かび発生面に塗装する場合は、必ず次の処理を行って塗装してください。

- ① 5%次亜塩素酸ソーダ水で殺菌処理してください。
- ② 処理剤塗付後は必ず水洗いをし、十分に乾燥させてください。

注3) 塗料を厚く付けすぎると、割れが発生する場合があります。必ず使用量をおまもりください。

注4) 弾性塗膜の塗り替えには使用しないでください。

注5) カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

# ニッペ 水性ケンエース

## 塗装基準

塗装方法	はけ・ウールローラー・エアレススプレー塗り
希釈率	2~8%
使用量	0.12~0.14kg/m <sup>2</sup> /回
1缶あたりの塗装面積	57~67m <sup>2</sup> /2回/16kg 14~16m <sup>2</sup> /2回/4kg

- 塗付量は、0.10kg/m<sup>2</sup>/回です。
- 使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量
- 塗付量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量

## 塗り重ね乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	5時間以上	2時間以上	1時間以上

乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相	つや
ニッペ 水性ケンエース	水性反応硬化形 エマルジョン塗料	16kg 4kg	各色 (原色あり)	つや消し

## やに止めレベルの目安

水性塗料のため、あらゆる条件でやに止められる訳ではありません。以下の色相を目安に注意して施工してください。

日本塗料工業会 (25-90D) 色相見本	ニッペ水性ケンエースで止まるやには左の色相が目安です。ただし、施工条件（温度、下地の状態）などにより止まらない場合がありますので予めご了承願います。左の色相見本より著しいやにが付着している場合は、水性シミ止めシーラーⅡを塗装するか、しっかり洗浄をしてやにを除去してから施工してください。
-----------------------------	---

## ■施工上の要点と注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにご確認ください。）

- 防塵・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避け、溶剤系塗料での塗装をおすすめします。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の悪い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取り除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーズルの先端は、ときどき水洗いしてください。作業効率の低下および塗むらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に結露を感ずることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプ塗料のため、使用後のやになどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ⑩ JIS K 5663 1種（主として屋外用）の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗り2回塗りでは仕上がりが異なります。
- 汚染除去性は、乾燥条件、使用量、塗り回数などにより若干差がある場合があります。
- つや消し仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 繊維織、耐火被覆用酸性カルシュームボック、ロクワールなどの非常に弱い素材には塗装できません。
- 吸音板塗り替え用顔料分塗材（シールマツトIIなど）の塗り替えには使用できません。
- 水点下で貯蔵すると凍ります。凍らないよう5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 日陰面に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。
- 反応硬化・吸音材の著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイバースプレーシーラーをご使用ください。
- やにが著しい場合は、ウエスなどでやにを拭き取り除去し、被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少しし、1回目の塗装を十分乾燥（目安23℃、6時間）させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 下地にタバコのやにが汚れている場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
- 2回塗りの洗浄に使用する薬剤が塗膜面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面を養生を行ってください。
- 塩化ビニルクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着し、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスは接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロスのはがれ部などはあらかじめ接着剤などで押さえておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケツ科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツ科学社製H1500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エポキシ樹脂系が劣化するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、FRPパネルなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイバースプレーシーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しすぎると乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング材への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- （35）塗料に「牙えいエコー、レッド、ブルー、グリーン」系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に「牙えい」系色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れない場合があるため、事前に試験施工塗り板などで確認してください。
- 顔色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や薄められた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により密着する様な箇所には使用しない場合は、フアンシロコンプレックスグレイを塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や浮きが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 濃彩色を塗装する際は、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてお確認の上、ご使用ください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- （40）はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差が生まれますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどに伴って補修が必要場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止クロス（シリコン加工された水をはじくクロス）には塗装できません。塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕方で塗装してください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビシート、銅板、塩ビミネート、プラスチック、ゴム、バッキン、合成皮革、塩ビクロスなどの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようによく攪拌してください。特につや調整剤では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて底の沈降物を十分にかくはんして使用してください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料が乾燥の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

## ■安全衛生上の注意事項

### ニッペ水性ケンエース 白

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を手当てしてください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 必要など以外には、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
- 口をすくってはいけません。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすいために休息させてください。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- （12）ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けてください。
- （13）目の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けてください。
- （14）施設にて保管してください。
- （15）直射日光や水濡れは厳禁です。
- （16）塗料などの缶の積み重ねは3段までとってください。
- （17）日光が遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にはばく露しないでください。
- （18）容器はより上げないでください。やむを得ずより上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手ははずれ、落下事故の危険があります）
- （19）内容物/容器を缶/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

	強い眼刺激／発がんのおそれ／臓器の障害のおそれ（単回ばく露）／長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
--	---

## 日本ペイント株式会社

- 北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
- 東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180
- 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
- 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
- 中部支店 ☎052-461-1960

●このカタログは再生紙を使用しています。

## 塗膜性能

試験項目	規格	水性ケンエース 試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない	合格
低温安定性（-5℃）	変質してはならない	合格
表面乾燥性	標準状態（23℃）、2時間以下	合格
	低温状態（5℃）、4時間以下	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
隠れ比率（白および淡彩）	93以上	合格
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格
屋外暴露 耐候性	12か月間の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格

## ■水性ケンエースグロスとの混合によるつや調整例

	7分つや有り	5分つや有り	3分つや有り
水性ケンエースグロス：水性ケンエース（重量比）	90：10	80：20	60：40

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-W172

SS181212T  
2018年12月現在